

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民文化ホール	所管課	県民生活部 生涯学習文化課
所在地	甲府市寿町26-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年11月23日
管理方式	アドブレーション・共立・NTT-F共同事業体		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例		
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する事を目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 約21,635㎡ ○建築面積 約9,259㎡ ○建築延床面積 約20,018㎡ ○建物の構造 地上4階、地下1階、塔屋1階、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール(客席、ホワイエ含む) 約3,594㎡ 定員:1,989人 ・小ホール(客席、ホワイエ含む) 約1,725㎡ 定員:700人 ・練習室、リハーサル室、楽屋、会議室 約1,455㎡ ・県民ロビー 約179㎡ ・事務室、機械室、倉庫等 約12,977㎡ ・駐車場 約5,614㎡ ・レストラン(客席、厨房) 約237㎡ 定員:約100人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)舞台芸術の公演の実施に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 甲府市総合市民会館(アリーナ形式) 大ホール(2,000人)、小ホール(300人) (2) 河口湖ステラシアター(野外施設) 大ホール(3,000人)、小ホール(200人) (3) 東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人)
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 利用状況

単位：人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	入館者数	317,376	305,305	329,256	
	事業参加者数	44,082	51,711	42,477	
	利用者数合計	361,458	357,016	371,733	
	目標値	350,000	355,000	360,000	358,400
	目標値設定の考え方及びその理由	○～平成30年度 平成24年度の実績を基に、平成26年度以降の5年の目標値を設定。 ○令和元年度 平成29年度の実績を基に、令和元年度以降の4年の目標値を設定。			
対28年度比		98.8%	102.8%	99.2%	
利用率	69.8%	71.0%	73.3%	69.5%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	119,803,800	121,176,000	124,283,535	120,259,000
	指定管理者委託料	161,713,000	161,713,000	161,713,000	161,416,000
	その他	52,179,187	57,150,000	54,112,141	51,771,000
	収入合計(A)	333,695,987	340,039,000	340,108,676	333,446,000
支出	人件費	104,029,920	103,371,000	104,029,920	102,252,000
	県への納付金				
	管理運営費	233,961,086	236,668,000	237,663,980	231,194,000
	うち外部委託費(B)	87,052,428	88,132,000	87,052,428	91,575,000
	支出合計(C)	337,991,006	340,039,000	341,693,900	333,446,000
収支差額(A-C)	△ 4,295,019		△ 1,585,224		
外部委託比率(B÷C)	25.8%	25.9%	25.5%	27.5%	
利用者一人当たりの経費	453.0	449.2	435.0	450.4	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～31年3月 実施方法:貸館利用者へのアンケート 回答数:769人(回収率:84.6%)
-------	----------------------------------------------------------------

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の充実度	91.4%	7.9%	0.7%	
②音響照明設備	92.0%	7.6%	0.4%	
③通路やロビー	91.9%	7.4%	0.5%	0.2%
④窓口	94.5%	5.3%		0.2%
⑤サービス内容	93.0%	6.6%	0.4%	
施設全般の満足度	93.6%	6.3%	0.1%	

利用者の意見	①館内の照明が暗い。(会議室ロビー、ホワイエ等) ②駐車場の台数が少ない ③館内が暑い(寒い)。
利用者の意見への対応	①会議室ロビーについてはダイクロハロゲンライトを増設し、明るさを高めた。当ホールは文化芸術施設の要素として、全体的に暗めを基調とした設計になっている。小ホールホワイエの照明に関してはLED化を修繕計画に盛り込んでいるが、緊急性の高い修繕からの対応となり対応できずに現在に至っている。今後も、計画に盛り込み対応を検討していく。 ②毎年いただいている意見だが、現状からの拡張は非常に難しい。満車時は警備員による周辺の民間駐車場への誘導、公共交通機関の利用を案内している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に業務を遂行した。利用者の安全確保の一環として今年度は楽屋、会議室等の各所室に、初めて利用するお客様にもわかりやすいような避難経路図を配備した。</p> <p>建物寿命80年を目指し日頃からの日常点検を実施し、建物・建物設備の延命化に向けて少しでも寄与して行きたい。</p> <p>温暖化が進む中で中間期が少なくなり、冷房期間が長くなったりガス・電気・灯油単価が値上がりし、光熱水の費用UPが避けられない状況下である。2018年度は電力会社を変更して電気料金のコスト削減を図った。今後も引き続きコスト削減を図って行く。</p>	<p>施設及び設備器具の保全に関する業務計画書のとおり、維持管理が適切に実施されていた。</p> <p>避難経路図の配備等、利用者や職員の防災意識を高める取り組みは評価できる。</p> <p>長寿命化対策により、長期的なスパンで施設の改修を行っていくが、常日頃より適切な点検を行うとともに、補修等が必要な箇所があれば修繕工事を実施する等、引き続き、施設の安全管理、維持管理に努めること。</p>
運営業務	<p>誰もが気軽に舞台芸術に触れ、体験することができるよう各種ワークショップや、アーティストと直接交渉し入場料の安価な舞台芸術公演の開催などに取り組んだ。</p> <p>さらに、ワークショップ受講者や日頃文化活動に取り組む県民に発表の場を提供するための事業を積極的に展開した。</p> <p>また、実演団体のために大小ホールの利用料段々割引を継続し、安価な施設利用を促進している。</p>	<p>業務計画に基づき、積極的な事業展開が実施された。文化芸術・舞台芸術の公演実施業務では、県民参加型事業を取り入れるなど、県民の文化活動への参加意欲を向上させるよい取り組みと評価する。今後も本県の文化芸術の振興につながる積極的な取り組みを行ってほしい。</p>
利用状況	<p>利用者数は371,733人となり、対前年で約14,717人増加した。一方、大小ホールの稼働率も73.3%となり対前年で2.3ポイント増加した。本年度は西関東吹奏楽コンクール、関東合唱コンクールなど大きな催し物が重なって開催されたため異例な増加となった。また、それに付随した参加団体の練習利用の増加により稼働率も大幅に伸びた。</p>	<p>大きな催し物が入ったこともあり、利用者数は対前年比で1.04%の増加、ホール稼働率も2.3%の増加となった。今後も利用者ニーズを把握するとともに、魅力あるイベントを実施、誘致するなどして、更なる利用促進を図ること。</p>

<p>収支状況</p>	<p>今年度は、施設利用料収入が過去10年間で最高を記録、また事業収入も前年比109%となり全体で対前年比102%となった。一方で、電気代、ガス代、灯油代の高騰により、光熱水費、燃料費が膨らみ、支出合計で前年比101%となり、2年連続の赤字決算となった。(赤字幅は大幅に削減できた。) 尚、自主事業費を含めると黒字決算となる。</p>	<p>光熱水費、燃料費に関しては、電気、ガス、灯油代の高騰により、支出額が増加したが、収入に関しては増加し、前年比で赤字幅が大幅に削減できたことは評価する。 今後も、経費削減対策や更なる運営対策に努め、収入増をも睨みながら事業展開を行うこと。</p>
<p>自主事業</p>	<p>ホールや会議室を利用し公演や事業を展開する方々が必要とする雑多な作業をワンストップで安価に可能とするための「コンシェルジュ事業」を充実させた。ホール職員の培った経験を活かしサービスを提供する業務で「煩わしさから解放された」など好評をいただいている。また、文化事業では県民が気軽に舞台芸術を体験できる事業や県民ロビーでロビーコンサートなどに力を入れた。</p>	<p>人気アーティストや落語家、ミュージカル等、優れた舞台芸術の企画により、県民が気軽に鑑賞できる自主事業実施に取り組んだ。 また、ホール内ロビーを利用した事業を行い、文化芸術に触れる機会を創出したことは評価できる。 今後も、より多くの県民が文化活動に参加できる機会を図ってもらいたい。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>利用者アンケートを実施し、高い評価をいただいた(満足度99.9%)。ホールも36年を経過し、ハード面では経年劣化などにより御不便をお掛けする事もあると思われるが、できるものから対応し快適に過ごしていただけるよう努める。又、中、長期的な計画を立て、県と情報交換を密にとり、長寿命化に取り組む。</p>	<p>施設全体の満足度では、99.9%と非常に高い評価を得ている。他の調査項目においても99%以上の高い満足度の評価を得ている。 今後も更なるサービスの質の向上を図るため、利用者の声を真摯に受け止め、各項目の満足度が、より100%に近づくよう努力されたい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。</p> <p>日々の点検の中で、老朽化等に伴い必要となる緊急又は簡易な修繕工事を34件施工した。</p> <p>利用者数は、対前年比で1.04% (14,717人)の増加となった。目標値である36万人を上回ることが出来た。</p> <p>大・小ホールの稼働率は73.3%となり、対前年比で2.3ポイントの増加となった。</p> <p>利用者満足度では、施設全体の満足度が、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて、99.9%と高い評価を得た。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>維持管理業務、運営業務等は、提案書、協定書、業務計画書等に基づき、概ね計画どおり適正に執行されており、総合的な利用者満足度も99%を超える高い評価を得ている。</p> <p>利用者数は、対前年比1.04%の増加となり、37万人越えを達成した。ホールの稼働率も73.3%と前年を上回っており、順調な数値を記録している。</p> <p>令和元年度も積極的な事業展開、広報活動等により、更なる利用者数の増加と、施設稼働率の向上を図らねばならない。</p> <p>開館から36年が経過し、施設老朽化に伴い各種設備に不具合・故障が発生している。日常的にきめ細かな施設点検や修繕を実施し、利用者に安全で安心な施設運営に努めるよう指示した。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用者満足度については、引き続き利用者へのアンケート結果を分析し、毎月開催しているホール会議で対応の検討を行い、サービスの質の向上に努めていく。</p> <p>大手プロモーター、アーティスト事務所への営業については、一層強化を図っていく。ホールの稼働率の向上、利用者数の増加を図るため、引き続き、地元紙においてイベント等の全面掲載告知を行っていく。また、テレビ(3局)、ラジオ(2局)媒体では、催し物のCMを流す他、自主事業に関してはホール職員が直接出演し、生の声で告知をしている。今後も、より効果が期待できる内容を検討し、積極的に広報活動を行いたい。</p> <p>施設管理については、事業計画に基づき、日々の点検を確実に実行し、安全安心な設備運営に努めた。今後も、日々の点検を確実に実施し、利用者への安全安心の確保、設備の保全に万全な体制をとっていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

